

# 稲田の子

令和6年

2月20日 発行

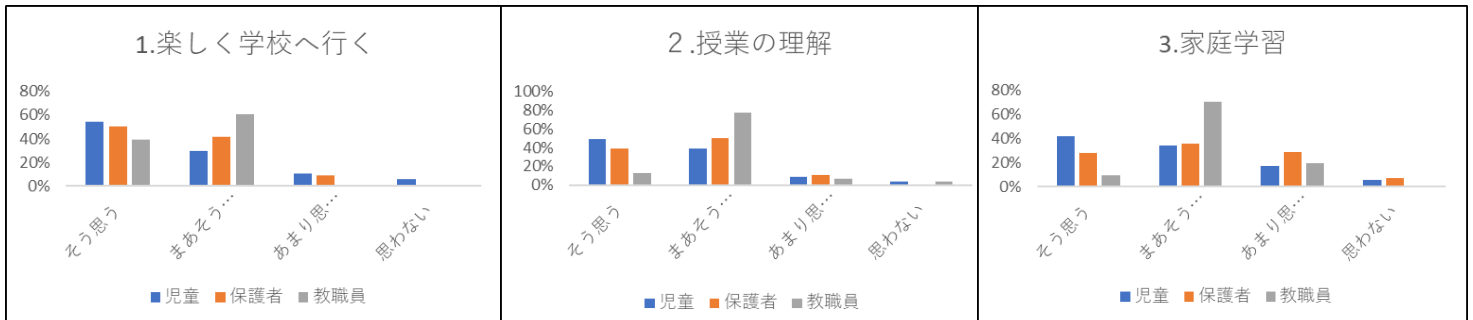
文責 校長 鈴木 宏和

時を守り 場を清め 礼を正し

物事に向き合う 稲田っ子

## 保護者・児童・教職員アンケートについて

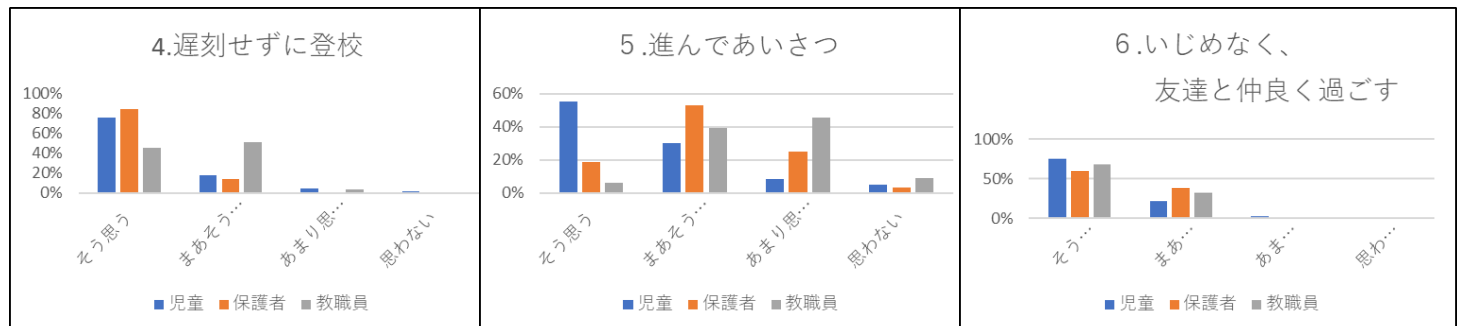
今年度も、学校評価アンケートへのご協力ありがとうございます。各項目ごとの結果と考察をお知らせいたします。



9割近くの児童が学校へ楽しく行くと回答しているが、1割程度の児童がそう思わないと回答をしている。否定的な回答が0になるよう一人一人に目を向け自己存在感を味わえるような学級経営に努めていく。

授業が分かると答えた児童が91%であるが、分からないと答えた児童が9%いる。算数における少人数指導を継続するなど、全教科で基礎基本の定着を図っていく。

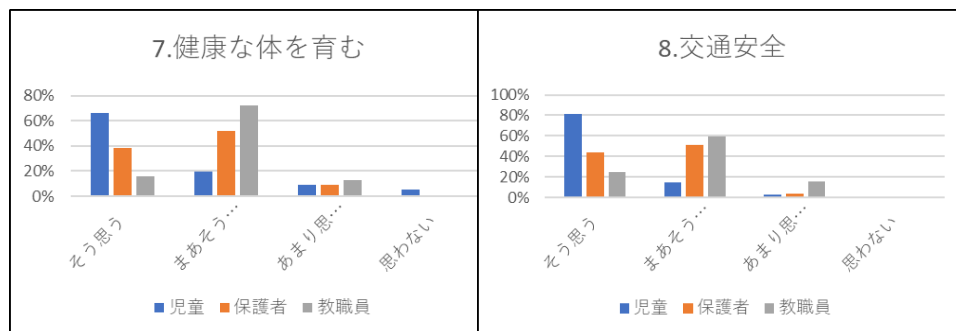
他の項目に比べ、24%の児童が「思わない」と回答し課題のある項目である。家庭に協力を仰ぎながら、家庭での学習習慣と主体的に学習に向き合う態度を身に付けさせ、工夫しながら指導していく必要がある。



家庭の協力もあり4月当初に比べ確実に遅刻する児童は減ってきている。時間を守る等の自分を律する力はこれから子どもたちが社会に出て行く上で必要な力と捉え、ねばり強く指導していきたい。

児童の自己評価と保護者・教職員の評価の差違が大きい。マスクで口の動きが見えないことも原因の一つに考えられるが、あいさつは相手に伝わるのが大切であることを繰り返し指導していきたい。

「思う」「まあそう思う」と回答する児童の割合が高く、道徳心が育ってきていると捉えたい。しかし実数で20名程度の児童が否定的な回答をしている事は看過できない。引き続き学校の教育活動全体で道徳に力を入れていく。



85%の子が肯定的な回答をしている。休み時間のグラウンドや体育館の使用率も高い。児童会を中心に体力向上のイベントなども企画している。継続した取組を続けていく。

81%の児童が「そう思う」と回答しており、交通安全に対して児童の意識が高いことがうかがえる。稲田小の通学路における交通量の多さを考えると、引き続き徹底した安全教育を展開していきたい。

文書記述では、個別の生徒指導案件についても情報をいただきました。児童にタイムリーな指導を行えると効果的ですので、その都度お電話等でお知らせいただくと幸いです。☎48-5454（稲田小）  
そして、クロムブックの持ち帰りや、クロムブックでの宿題について、学習用具の持ち帰りについて等にご意見をいただきました。しっかりと検証し、今後の学校経営に反映させていただきます。  
また、教職員への励ましの言葉もいただきました。ありがとうございました。



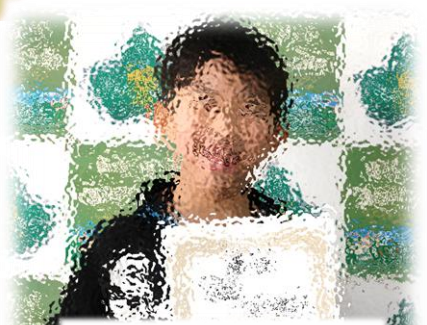
# がんばる稲田の子



第33回  
とちか・ひだか児童版画コンクール  
帯広市長賞 5年 佐藤 愛奈



第66回中部北海道スケート選手権大会  
2級クラス女子 第2位  
3年 梅林 留実加



2024NEW YEAR CUP  
9級太極Iの部 準優勝  
2年 石黒 友晴



第26回十勝新春水泳競技大会  
50m背泳ぎ 第1位  
4×50mフリーリレー 第1位  
3年 館盛 世羅



全国かきぞめ読書大会  
銀賞 2年 竹腰 奈緒



第3回鈴蘭杯空手道トーナメント  
優勝 6年 松本 凜桜



第27回日本習字展 硬筆の部  
入選 2年 前田 詩織



第30回全十勝小学生バドミントン  
鈴蘭大会4年生以下女子シングルス  
3位 4年 中村 茉暖



SAJ スキー級別テスト  
ジュニア1級 合格  
6年 小松 歩未



とちかフットサルリーグ2024  
U-9 優勝 稲田サッカー少年団



第55回北海道アンサンブルコンテスト帯広地区予選  
銀賞 稲田小ウインドアンサンブル管打七重奏



とちかフットサルリーグ2024  
U-9 優勝 稲田サッカー少年団



とちかフットサルリーグ2024  
U-9 優勝 稲田サッカー少年団